



変化する社会の中で**自律**していく生徒の育成「みんなで100点チーム西中」

「てとてとて」

高鍋西中学校だよりNO2 令和5年5月18日 文責 黒木 倫徳



年度当初の参観日(総会)・三者面談ありがとうございました。

新年度に入り、早速4月16日(日)に第1回の参観日と参集してのPTA総会を実施いたしました。日曜日の開催やコロナの感染状況が落ち着き感染対策も緩和されつつある中での実施でしたので、参観者も多く特に、お父様方の参加が多かったこともありがたかったです。また、4月18日(火)から27日(木)までの期間に三者面談を計画させていただきましたが、こちらも都合をつけていただき、無事、終わることができました。保護者の皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。



薬物乱用防止教室を行いました。「ダメ。ゼッタイ。愛する自分を大切に」

4月26日(水)に高鍋舞鶴ライオンズクラブの津曲智邦様とメンバーの皆様方を講師にお迎えして、「薬物乱用防止教室」を実施いたしました。薬物の種類や薬物を使用した人間の状況、未成年者における「たばこやアルコール」の影響、断る勇気や相談することの大切さについて、丁寧に分かりやすくお話いただきました。



魔の手は、インターネット等の発展により我々の身近に存在しているといっても過言ではありません。ご家庭でも「正しい知識と判断力」を身に付けさせていきましょう。

【生徒の感想(抜粋)を掲載いたします】

- ☆ 薬物乱用することで身近な人や友達、家族との関係が大きくくずれてしまったり、一度乱用してしまったら、もうやめられなくなったりということになってしまいます。誘われても断って、乱用しないように気を付けたいです。(1年女子)
- ☆ 友達や親、先生に相談することがどれだけ大切なことなのかということも学ぶことができました。(1年女子)
- ☆ あいまいにしか知らなかった薬物のことを講師の方々が一生懸命話してくださって、薬物のことをよく知ることができました。(1年女子)
- ☆ 薬物は人の命も奪ってしまうほどの力があると聞き驚きました。(2年女子)
- ☆ 私には関係のないことだと思っていたけれど、学生にも使用者がいるということで、割と身近にあるんだなあと思いました。(2年女子)
- ☆ 薬物乱用によく使われる薬は、名前を変えて私たちに近づいてくるので、いくら名前がきれいでも少しでもあやしいと思ったら疑うようにしたいと思いました。(3年女子)

3年生は待ちに待った「修学旅行」でした！



新型コロナウイルス感染症のため、3年生の修学旅行は令和4年度中には実施せず、3年生で行うこととしておりました。3年生となると受験を含め、様々な行事が錯綜していくため、この時期（5月10日～12日）に実施いたしました。2年生の段階から計画的に準備は進めておりましたが、進級して学級のメンバーも入れ替わったため、部屋割りや自主研修班決め、研修計画など多くのことを慌ただしく行っただけの出発となりました。

旅行中は、お陰様で天候にも恵まれ、生徒も集合時間をしっかり守り、体調不良を訴える生徒もいなかったため、当初の予定通り実施することができました。引率責任者として、本当にホッといたしました。生徒の皆さん、3年職員の先生方、添乗員さん、運転手さん、ガイドさん、ホテルの皆さま方、そして保護者の皆様に心より感謝申し上げます。

【今回の修学旅行を振り返ってみます。】

5月10日(水)



6時20分に集合して、添乗員さんや運転手・ガイドさんの紹介、諸注意を受け、3日間の修学旅行が始まりました。初日は、一気に長崎県までバスの旅でした。長崎市に入ってから、原爆被災者協議会の方による戦争体験講話を聴き、その後平和公園、爆心地公園、原爆資料館を見学しました。原爆資料館では、熱心に写真や説明を見たり読んだりしている多くの生徒の姿を見ることができました。それぞれ何かを感じ取ってくれたと思います。

5月11日(木)



午前中に世界文化遺産に登録されている軍艦島（端島）に渡り、日本の近代化を支えた産業遺産を見学し、午後からは班別自主研修を行いました。各班とも初めての長崎市内を級友と協力し合いながら見聞を深めました。

5月12日(金)



最終日は、ハウステンボスで過ごしました。オランダの異国情緒あふれる上品な建物や景観は、とても素晴らしかったです。時間いっぱい楽しんでいました。

